

## 2021年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号  | 科目名                                    | 担当者名   | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別   | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|--|--|------------------|--|-----|--------|---------|
| 330311049   | 保育原理<br>Early Child Care and Education | 山崎典子   |                  | 専門   | 2   | 必修     | 1前期     |
| <b>科目の概要</b>  |  |  |                  |  |     |        |         |
| 保育の意義について理解し、保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について学ぶ。また、保育の内容と方法、思想や歴史の変遷などを学ぶ中で、保育の現状と課題について考察し、その学びの中で、保育者となるための基本的な知識と技能及び実践的指導力について理解し、保育士として子どもたちの社会性・社会力の基礎・基本を育てられるよう、また保育を多面的に見る力を養うことを目的とする。保育園長10年の経験をもとに、求められる保育者の資質について知らせていく。 |  |  |                  |  |     |        |         |
| <b>学修内容</b>   |  |  |                  | <b>到達目標</b>  |     |        |         |
| ① 保育の意義について理解する<br>② 保育所保育指針における保育の基本について理解する。<br>③ 保育の内容と方法の基本について理解する。<br>④ 保育の思想と歴史の変遷について理解する。<br>⑤ 保育の現状と課題について考察する。   |  |  |                  | ① 子どもの最善の利益という観点から「保育」の意味を考察することができる。<br>② 我が国の保育制度の特徴を知り、保育所・幼稚園・認定こども園の役割について説明することができる。<br>③ 基本構造を理解し、基本的な特質をとらえることができる。<br>④ 先人たちの取り組みと今の保育とのつながりについて気づくことができる。<br>⑤ 保育の現状と課題について報告することができる。 |     |        |         |
| <b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>  |  | <b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>                                       |                  |  |     |        |         |
| 前に踏み出す力   | 主体性                                    | ・授業内で指示する予習や復習を行い、学び続けることができる。   |                  |  |     |        |         |
|   | 働きかけ力                                  |  |                  |  |     |        |         |
|   | 実行力                                    | ・与えられた課題を期限までに仕上げるができる。<br>・保育者になるという目標にむかって、保育に関する本を一冊以上読む。           |                  |  |     |        |         |
| 考え抜く力   | 課題発見力                                  | ・確認テストから自己の課題を見つけ、間違いノート（見直しノート）を作成する。<br>・保育に関する様々な知識を新聞やニュースなどでも習得する |                  |  |     |        |         |
|   | 計画力                                    |  |                  |  |     |        |         |
|   | 創造力                                    | ・広い分野から情報を収集し、保育の現状と課題について調べる  |                  |  |     |        |         |
| チームで働く力   | 発信力                                    | ・発表の仕方を工夫して発表できる   |                  |  |     |        |         |
|   | 傾聴力                                    | ・話を聴いたり、メモを取ったり学ぶ姿勢ができていないか確認する。                                       |                  |  |     |        |         |
|   | 柔軟性                                    |  |                  |  |     |        |         |
|   | 状況把握力                                  |  |                  |  |     |        |         |
|   | 規律性                                    | ・話を聴いたり、メモを取ったり学ぶ姿勢ができていないか確認する。                                       |                  |  |     |        |         |
|   | ストレスコントロール力                            |  |                  |  |     |        |         |
| <b>テキスト及び参考文献</b>   |  |  |                  |  |     |        |         |
| 『つながる保育原理』 みらい<br>・『幼稚園教育要領』 文部科学省 フレーベル館<br>・『保育所保育指針』 厚生労働省 フレーベル館  |  |  |                  |  |     |        |         |
| <b>他科目との関連、資格との関連</b>   |  |  |                  |  |     |        |         |
| 他科目との関連：「保育原理」は保育内容総論、保育内容 5 領域を学ぶ上でその基盤となる科目である。<br>関連する資格：保育士・幼稚園教諭一種   |  |  |                  |  |     |        |         |
| <b>学修上の助言</b>   |  |  |                  | <b>受講生とのルール</b>  |     |        |         |
| ・保育に関する本を読み、興味や関心をもち、1冊は読み紹介すること。   |  |  |                  | ・授業中の私語は慎み、授業中に寝ていて授業に参加していないと判断した場合は欠席とする。<br>・遅刻（遅刻3回を欠席1回）や欠席はしないよう心がける。<br>・携帯電話は鞆にしまい、必要なとき以外は出さないよう心がける。   |     |        |         |

【評価方法】

| 評価対象                  | 評価方法         |                    | 評価の割合 | 到達目標 |   | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント  |   |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---|--|---|
| 学修成果                  | 学期末試験        | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 70    | ①    | ✓ | ・「保育原理」は保育士資格、幼稚園教諭免許を取得するためには、必ず単位を取得することが必要な科目である。保育者を目指すにあたり、到達目標の①②③④⑤に対応して、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。  |   |
|                       |              |                    |       | ②    | ✓ |  |   |
|                       |              |                    |       | ③    | ✓ |  |   |
|                       |              |                    |       | ④    | ✓ |  |   |
|                       |              |                    |       | ⑤    | ✓ |  |   |
|                       | 平常評価         | 小テスト               |       | 0    | ① |  | ・「保育原理」は保育士資格、幼稚園教諭免許を取得するためには、必ず単位を取得することが必要な科目である。保育者を目指すにあたり、到達目標の①②③④⑤に対応して、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 |
|                       |              |                    |       |      | ② |  |   |
|                       |              |                    |       |      | ③ |  |   |
|                       |              |                    |       |      | ④ |  |   |
|                       |              |                    |       |      | ⑤ |  |   |
|                       |              | レポート               |       | 20   | ① | ✓  |   |
|                       |              |                    |       |      | ② | ✓  |   |
|                       |              |                    |       |      | ③ | ✓  |   |
|                       |              |                    |       |      | ④ | ✓  |   |
|                       |              |                    |       |      | ⑤ | ✓  |   |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） |              | 0                  | ①     |      |   |  |   |
|                       |              |                    | ②     |      |   |  |   |
|                       |              |                    | ③     |      |   |  |   |
|                       |              |                    | ④     |      |   |  |   |
|                       |              |                    | ⑤     |      |   |  |   |
| 学修行動                  | 社会人基礎力（学修態度） |                    | 10    | ①    | ✓ | 主体性：授業以外の時間を使い、課題について調べたことをノートに整理する<br>実行力：与えられた課題を期限までに仕上げるができる<br>課題発見力：保育に関する様々な知識を新聞やニュースなどでも習得する<br>創造力：保育の現状や課題について調べ、発表することができる<br>発信力：意見を述べたり、発表したりできる。<br>傾聴力：発表を通して、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べる<br>ことができる<br>規律性：授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 |   |
|                       |              |                    |       | ②    | ✓ |  |   |
|                       |              |                    |       | ③    | ✓ |  |   |
|                       |              |                    |       | ④    | ✓ |  |   |
|                       |              |                    |       | ⑤    | ✓ |  |   |
| 総合評価割合                |              | 100                |       |      |   |  |   |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準   | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準  |
|--|---|
| <p>・達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、筆記試験において、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、レポートでは、自分なりの明確な主張ができています。また、授業内での発言等において、積極的に発信力を意識した発言を心がけている。</p> | <p>・達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、筆記試験において、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、レポートでは、自分なりの言葉でまとめることができている。また、授業内での発言も積極的である。</p> |

| 週 | 学修内容   | 授業の実施方法      | 到達レベルC(可)の基準                                       | 予習・復習  | 時間(分) | 能力名               |
|---|--|--------------|--|--|-------|-------------------|
| 1 | オリエンテーション<br>・保育者の役割を概観し、保育の基本や内容を学ぶ   | 講義           | 講義の目的内容を理解できている                                    | (復習)<br>保育所保育指針を確認する   | 120   | 主体性<br>創造力<br>傾聴力 |
| 2 | 第1章<br>「保育の原理」<br>・保育者とは何か、保育所の役割を知る。  | 講義           | ・保育の目標に関する<br>ことについて調べた<br>ことを発表することが<br>できる       | 予習)<br>第1章を読んで授業に<br>臨む<br>(復習)<br>保育の目標について調<br>べ、講義ノートにまと<br>める                    | 120   | 主体性<br>創造力<br>傾聴力 |
| 3 | 第2章<br>「子どもの育ち」<br>・一人ひとりの特性に<br>応じた保育について考<br>え、発達について学修<br>する。                     | 講義<br>グループ討議 | 子どもの発達について<br>理解する。愛着の形成<br>について理解する。              | (予習)<br>第2章を読んで授業に<br>臨む。<br>(復習)<br>「子どもの育ち」や<br>「愛着」について学ん<br>だ事をプリントにまと<br>める。    | 120   | 課題発<br>見力         |
| 4 | 第3章<br>「保育の行われている<br>場所」<br>・主な保育施設につい<br>て学修する。                                     | 講義<br>グループ討議 | ・幼稚園教育要領、保<br>育所保育指針、認定こ<br>ども園について学修す<br>る。       | (予習)<br>第3章を読んで授業に<br>臨む。<br>(復習)<br>話し合った事を自分な<br>りに講義ノートにまと<br>める。                 | 120   | 主体性<br>傾聴力        |
| 5 | 第4章<br>「保育の基本」<br>・指針、要領の全体構<br>成を見ていく。  | 講義           | ・保育所保育指針をも<br>とに保育所保育に関す<br>る基本原理について理<br>解する。     | (予習)<br>第4章を読んで授業に<br>臨む<br>(復習)<br>保育所保育指針、幼稚<br>園教育要領を確認す<br>る。                    | 120   | 主体性<br>傾聴力        |
| 6 | 第5章<br>「保育のねらいと内容<br>と方法」<br>・3歳未満児の保育に<br>ついて学修する。                                  | 講義           | ・3歳未満児の保育で<br>大切にすることを理解<br>する。                    | (予習)<br>第5章を読んで授業に<br>臨む。<br>(復習)<br>保育のねらいと内容と<br>方法について学んだ事<br>をまとめる。              | 120   | 課題発<br>見力         |
| 7 | 第6章<br>「保育のねらいと内容<br>と方法」<br>・3歳以上児の保育を<br>めぐる状況を知りねら<br>いと内容について学修<br>する。           | 講義<br>確認テスト  | ・3歳以上児の保育で<br>大切にすることを理解<br>する                     | (予習)<br>第6章を読んで授業に<br>臨む。<br>(復習)<br>エピソードを通して保<br>育のねらいと内容と方<br>法について振り返って<br>考えてみる | 120   | 主体性<br>傾聴力        |
| 8 | 第7章<br>「幼児期の終わりまで<br>に育ってほしい姿」<br>・就学までに育ってほ<br>しい10の姿を理解す<br>る。幼保こ小の接続に<br>ついて学修する。 | 講義<br>グループ討議 | ・自分自身の卒園と入<br>学を振り返りグループ<br>で話し合う。その振り<br>返りをまとめる。 | (予習)<br>第7章を読んで授業に<br>臨む<br>(復習)<br>話し合ったことを講義<br>ノートにまとめる。                          | 120   | 発信力<br>規律性        |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週  | 学修内容  | 授業の実施方法         | 到達レベルC(可)の基準   | 予習・復習   | 時間(分) | 能力名               |
|----|---|-----------------|--|---|-------|-------------------|
| 9  | 第8章<br>「保育の計画」<br>・保育における計画やさまざまな用語の意味を理解し説明できるように学修する。 | 講義              | ・PDCAサイクルについて自分なりの考えをまとめる。                           | (予習)<br>第8章を読んで授業に臨む。<br>(復習)<br>用語について講義ノートにまとめる。                | 120   | 課題発見力<br>創造力      |
| 10 | 第9章<br>「保育の専門家への道」<br>・保育者に求められる専門性や研修の必要性について学修する。     | 講義              | ・保育者を目指すにあたりどのような学びが必要か考えられる。                        | (予習)<br>第9章を読んで授業に臨む。<br>(復習)<br>保育の質の向上の為に自分が身につけたい事を講義ノートにまとめる。 | 120   | 主体性<br>傾聴力        |
| 11 | 第10章<br>「子育て支援」<br>・子育てをめぐる家庭と社会、地域とのコミュニケーションについて学修する。 | 講義<br>グループ討議    | ・保護者と地域とのコミュニケーションについて理解し、子育て支援について理解を深める。           | (予習)<br>第10章を読んで授業に臨む。<br>(復習)<br>グループ討議に出た内容を講義ノートにまとめる。         | 120   | 主体性<br>傾聴力        |
| 12 | 第11章<br>「海外の保育思想と歴史」<br>・海外の保育、教育思想について理解を深める。          | 講義              | ・授業で取り上げた人物の中から印象に残った1人を選び、時代背景や思想内容について箇条書きでまとめられる。 | (予習)<br>第11章を読んで授業に臨む。<br>(復習)<br>選んだ一人について講義ノートにまとめる。            | 120   | 課題発見力<br>発信力      |
| 13 | 第12章<br>「日本の保育思想と歴史」<br>・日本の保育、教育思想について理解を深める。          | 講義              | ・倉橋惣三の保育理論を学ぶ。                                       | (予習)<br>第11章を読んで授業に臨む。<br>(復習)<br>選んだ一人について講義ノートにまとめる。            | 120   | 実行力<br>発信力<br>規律性 |
| 14 | 第13章<br>「保育の現状と課題」<br>・保育の課題について考える                     | 講義<br>グループ討議    | ・保育の現状や動向について理解を深める。グループで話し合い、発表の準備をする。              | (予習)<br>第13章を読んで授業に臨む。<br>(復習)<br>発表に向けて打ち合わせをする。                 | 120   | 実行力<br>発信力<br>規律性 |
| 15 | まとめ<br>・保育の課題について考える                                    | 講義<br>グループ討議の発表 | ・自分の役割を把握し、グループメンバーと協力して課題に取り組むことができる                | (予習)<br>今までの学習成果の発表に向け準備をする。<br>(復習)自分なりに課題を講義ノートにまとめる。           | 120   | 実行力<br>発信力<br>規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力